

近畿地方整備局
資料配付

配布日時	平成 23 年 9 月 22 日 15 時 00 分
------	-------------------------------

件名	土砂災害防止法に基づく緊急調査の随時情報 (奈良県十津川流域第 10 号、和歌山県日置川流域第 11 号)
----	--

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害防止法に基づく、土砂災害随時情報を別紙のとおりお知らせします。 ・本日午前、熊野、赤谷、長殿、栗平、の河道閉塞状況ついて、ヘリによる調査を実施しましたので、その結果を報告します。(北股は天候不良のため調査できませんでした。) <p>※今後詳細な情報が分かりしだい随時公表いたします。</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-----------------------

問合せ先	近畿地方整備局 河川部 河川調査官 <small>なかごめ あつし</small> 中込 淳 (内線 86-3513) 河川部 河川計画課 <small>よしだ かずあき</small> 課長 吉田 一晃 (内線 86-3611) 代表 06-6942-1141 直通 06-6945-6355
------	--

平成23年9月22日
15時00分

土砂災害随時情報 (奈良県十津川流域) 第10号

奈良県知事 殿
五條市長 殿
十津川村長 殿
野迫川村長 殿

近畿地方整備局長

河道閉塞に係る、土砂災害随時情報 重要(第10号)についてお知らせします。

(本日午前のへり調査結果について)

【問い合わせ先】

国土交通省近畿地方整備局河川部河川調査官
国土交通省近畿地方整備局河川部河川計画課長
直通06-6945-6355

中込 淳
吉田 一 亮

平成23年9月22日

土砂災害防止法に基づく緊急調査の随時情報 10

【奈良県五條市赤谷、奈良県十津川村長殿、奈良県十津川村栗平】

近畿地方整備局

本日（22日）午前、奈良県五條市赤谷、奈良県十津川村長殿、奈良県十津川村栗平の河道閉塞状況についてヘリによる調査を実施しました。（調査者：国土交通省国土技術政策総合研究所 土砂災害研究官 ^{よしかわ ともひろ}吉川 知弘）

天候は回復しましたが、依然として湛水池の水位は高く、赤谷では越流も確認されています。いずれも危険な状況が続いていますので、引き続き嚴重な注意をお願いいたします。

【奈良県五條市赤谷 ヘリ調査メモ】

- ・ 現場にヘリコプターで10:45頃到着。
- ・ 湛水池から下流に向けて堆積土砂上を越流していることが確認された。
- ・ 流れ出しは岩の間を縫っているように流れているが下流に向けて明確に流路が形成されている。流路幅は目視で3～4m、深さは一番深いところで3m程度。
- ・ 崩壊地斜面の中央部から堆積土砂に向けて二次崩落しており、一部が湛水池に、一部は堆積土砂及びその下流に流出している。
- ・ 堆積土砂下流部に存在していた湧水箇所は、新たな堆積土砂で埋没し流出は確認できなかった。
- ・ 川原樋川の河道に浸食された土砂が一部堆積している。

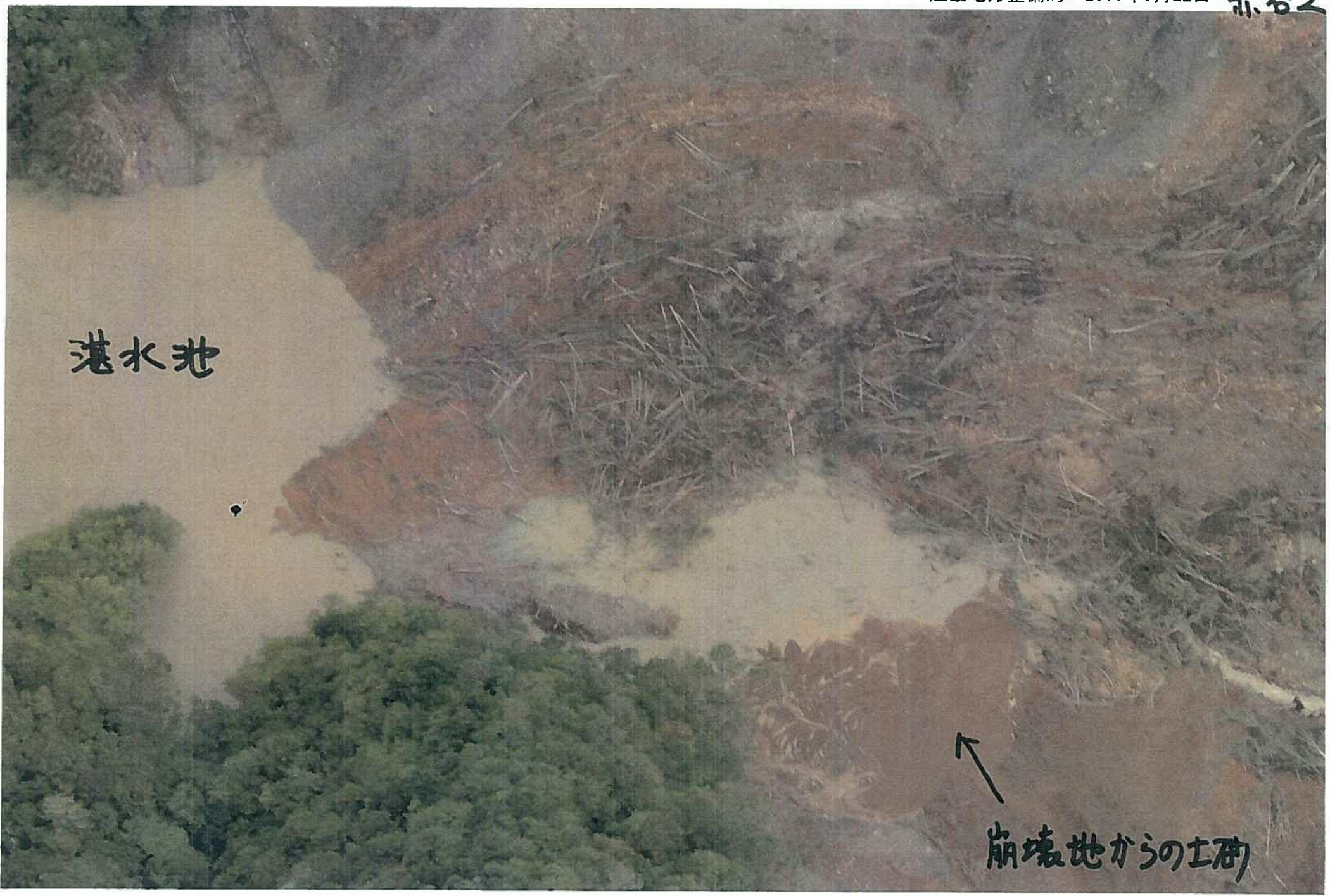
【奈良県十津川村長殿 ヘリ調査メモ】

- ・ 現場にヘリコプターで10:58頃到着。
- ・ 越流は確認されなかった。
- ・ 崩壊地斜面に降った雨が泥水となって流出し、堆積土砂の右岸側を走った跡が見られるが、それ以外に大きな変状は見受けられない。

【奈良県十津川村栗平 ヘリ調査メモ】

- ・ 現場にヘリコプターで11:08頃到着。
- ・ 越流は確認されなかった。
- ・ 崩壊地斜面に降った雨が流れ出し、これまでに堆積していた土砂や流木が湛水池や下流に流出した形跡がある（流木が流れた方向を示すように堆積）。これ以外に堆積土砂の目立った変状は見受けられない。





港水池



崩壊地からの土砂



← 流出堆積した土砂

← 川原植川









平成23年9月22日
15時00分

土砂災害随時情報 (和歌山県日置川流域) 第11号

和歌山県知事 殿
田辺市長 殿

近畿地方整備局長

河道閉塞に係る、土砂災害随時情報 重要(第11号)についてお知らせします。

(本日午前のへり調査結果について)

【問い合わせ先】

国土交通省近畿地方整備局河川部河川調査官
国土交通省近畿地方整備局河川部河川計画課長
直通06-6945-6355

中込 淳
吉田 一 亮

平成23年9月22日

土砂災害防止法に基づく緊急調査の随時情報 11

【和歌山県田辺市熊野】

近畿地方整備局

本日（22日）午前、和歌山県田辺市熊野の河道閉塞状況についてヘリによる調査を実施しました。（調査者：国土交通省国土技術政策総合研究所 土砂災害研究官
よしかわ ともひろ
吉川 知弘）

天候は回復しましたが、依然として湛水池の水位は高く越流も確認されています。危険な状況が続いていますので、引き続き嚴重な注意をお願いします。

【和歌山県田辺市熊野 ヘリ調査メモ】

- ・ 現場にヘリコプターで8:46頃到着。
- ・ 昨日と同様、湛水池から下流に向けて越流が継続しているが、越流量は昨日より少ない。
- ・ 崩壊地中央部に大きく溝状に削られた跡が見られ、ここから発生した泥流が上流側湛水池と堆積土砂の右岸側に分かれて流下し、堆積土砂右岸側には大きな浸食跡がある。（大きなものは、目視で約8～約10m、高さは深いところで約5m）。
- ・ 堆積土砂左岸側法面の昨日湧水が見られた箇所は水量はわずかになっている。

